2023年度　日本工学院八王子専門学校											
自動車整備科											
測定実習											
対象	１年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習+実技	時間数	48	単位	1
担当教員	大瀧昇利、和田浩、村木亮治、非常勤講師			実務経験	有	職種	一級自動車整備士、自動車整備士				

授業概要

自動車整備で必要な計測を、測定作業を通して学びます。

到達目標

自動車材料・性質の基礎知識、測定機器の必要性・取扱いを身につけ、自動車整備の基本である材質を理解し、基本的な構造を踏まえた上で、測定技術を学び、小数点以下の測定感覚や物を計る目を養い、測定機器の選択を行い調整、測定方法を正しく行うことで精巧に作られた各部品を寸分の狂いなく測定することが出来るようになることを目標とする。

授業方法

自動車の材料、計測機器の取扱いを理解出来るように授業を進める。項目ごとに確認を行い、短期的な目標設定を設けることにより学生が項目ごとに理解度をしっかりと認識する。事前学習、復習をしっかりと行い、この授業に参加する学生が実作業に活用出来るようになることを目指す。

成績評価方法

試験を総合的に評価（100%）

履修上の注意

学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。教員の指示に従い、勝手な作業を行わないこと。不明な点は教員に確認し、理解を深める努力をすること。また出席確認時に遅刻の場合４時間の欠席となる。

教科書教材

適時レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料などは、授業中に指示する。／実習教材など。

回数	授業計画
第1回	測定の受容性、単位（グループワーク）：自動車の材料、測定機器の必要性を理解し、安全な取扱いが行うことが出来るようになる
第2回	測定作業①（グループワーク）：スケール、ノギスの概要理解、正確に測定することが出来るようになる
第3回	測定作業②（グループワーク）：マイクロメータ、ダイヤルゲージの概要理解、正確に測定することが出来るようになる

2023年度　日本工学院八王子専門学校	
自動車整備科	
測定実習	
第4回	測定作業③（グループワーク）：シックネスゲージ、スコヤの概要理解、正確に測定することが出来るようになる
第5回	測定作業④（グループワーク）：シリンダゲージの概要理解、正確に測定することが出来るようになる
第6回	応用測定（グループワーク）：様々な測定物を測定器具の選定をし、正確に狂いなく測定することが出来るようになる